



連合奈良の日(11月度)

11月は過労死等防止啓発月間です。近鉄大和高田駅に於いて連合の取り組みについてアピールを行いました。コロナ禍で加速した働き方の変化が、不安やストレスを感じることが増えているかもしれません。中々改善されない長時間労働や強いストレスが原因でうつ病や精神障害を発症することもあります。

過労死等防止啓発月間

身の安全は、会社や自分以外の方が保障してくれるわけではありません。勿論、働く上での安全配慮や相談体制は充実してきましたが、やはり「自分の身は自分で守る」という意識が大切です。その上で、職場の仲間とともに労働時間の管理や削減、上司や同僚とのコミュニケーションの充実等々、「安心して健康に働き続けられる」職場環境づくりを進めることが重要です。

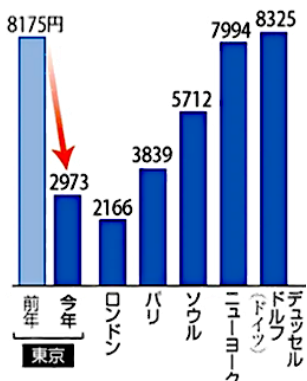
生活と政治は繋がっている ②

今や当たり前の必需品、スマートフォン。その先駆けが、iPhone。初代iPhoneの発表が2007年1月、6月に発売されました。残念ながら日本での発売はありませんでした。日本では2代目のiPhone3Gが2008年7月に発売されています。同時期に「Android」搭載のスマホが発売されて以降、驚く速さで進化してきました。

小学生が持つような時代が来ると15年前に想像できたでしょうか？

スマホ料金・・・

そのスマホの料金が高すぎるといことで政治主導で値下げされました。利用する側からは有難い話だし、これで世界と肩を並べたと思っていたらグラフのようなことになっていた。



一方、昨年2020年3月から日本でも5G通信が始まっている・・・5Gの通信速度は最大4Gの20倍！同時接続が10倍になりアプリやデータのダウンロード時間が1/10になる。大容量・高速通信が可能になり様々な分野で生活が変わるともいわれています。更に遅延速度も1/10になり車の自動運転や遠隔操作での手術などを可能にします。

ところが、「日本は5Gでは世界から遅れている」と指摘されていて、利用できるエリアもまだまだのようになっています。高価な端末は”宝の持ち腐れ”状態になっていないのでしょうか？

連合奈良 第18回定期大会開催

於:奈良ホテル



11月10日午後から連合奈良第18回定期大会が開催されました。COVID-19の感染者が激減しているとはいえ、減少要因が明確になっていないことからご来賓のご臨席については見合わせて開催されました。

提起された議案については全て承認され新たな体制で運動がスタートしました。新しいスローガンとして

安心社会へチャレンジ

～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～

を確認しました。中和地協も確認された連合奈良の運動方針に基づいて、地協の独自性を加味しながら方針を策定し定期総会に諮ります。



値下げは当然の結果として通信会社の収益を悪化させます。これが、5G基地局の設置遅延や開発競争でしのぎを削っている次世代(6G)技術開発を阻害しなければいいのだが。考えすぎでしょうか？だといのですが、かつて世界の半導体産業をリードした日本の今日を見ると通信の世界も心配になる。俄かに「日本の半導体産業を護る・成長させる」との議論が活発になった。これも産業政策という「政治」。私たちの暮らしと政治は様々なところで繋がっています。料金値下げという足元だけ見て小さな喜びに浮かれているにはいけない気がする。



余談になるが、5Gによる通信はミリ波を使います。健康障害を懸念する話もありましたが、心配には及ばないことのようにです。そういえば、携帯電話が普及し始めたころ同様に健康障害、特に脳への悪影響があると基地局設置反対を叫ぶ人が多くいました。5Gに限らず新技術は安全性が担保されてこそです。



第49回衆議院議員選挙

10月31日に施行された第49回衆議院議員選挙に私たちが期待したものは何だったのか？与党に対抗し得る「大きな塊」を作るはずではなかったか・・・選挙結果だけを見れば自民党の圧勝。岸田総理が誕生した時、「看板を変えても中身は何も変わらない」と批判した野党は「看板は同じで中身も変わらなかった」と言っては厳しすぎるか？

このまま”烏合の衆”でいいのか？